

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和3年度学校評価計画

達成度(評価)	
A	: 十分達成できている
B	: おおむね達成できている
C	: やや不十分である
D	: 不十分である

1 前年度 評価結果の概要	・学方向上は、本校の重点課題と考える。今年度学方向上推進指定を受け、基礎学力の定着とともにタブレットを使った思考力・表現力育成を目指していく。 ・キャリア教育推進のための手立てを確立し、児童の「志」の確立と自己有用感の向上を図る。 ・困り感のある児童に対し、個別の支援ができる体制を構築し、全職員で取り組んでいく。
------------------	---

2 学校教育目標	未来を見つめ「たくましく のびのびと ところゆたかに」生きる 田野っ子 の育成
----------	---

3 本年度の重点目標	○子供に学力をつける……基礎的・基本的な学習・生活習慣の定着を図り、思考力・表現力の向上をめざす ○子供に夢や目標をもたせる……日々の学習や生活の中で、将来に向けての夢や目標をもって取り組む児童の育成をめざす ○家庭・地域との連携を図る……家庭学習や生活習慣の定着および地域と一体となって活動する学校をめざす ○職能成長を図る……研修の充実を図り、新しい教育課題に対応できる教職員の資質能力の向上をめざす
------------	---

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価
---------------	------	--------

(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組		具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
	取組内容	成果指標 (数値目標)								
●学力の向上 【のびのびと】	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師80%以上	・教職員間でマイプランを共有し、「学び方7か条」に基づく学習規律の継続と徹底を図り定着させる。							・学力向上対策コーディネーター ・研究主任
	○唐津市学力向上推進校としての校内研の推進	○授業における課題提示、学習活動、評価をアクションプランチェックシートにおいて2.5以上	思考力・表現力の向上を目指し、次の5点に取り組む。①振り返りからの授業スタート、②PWでの適切なヒント提示、③答えを導く過程の重視、④振り返りの充実、⑤その日に学んだことを宿題にする。							・学力向上対策コーディネーター ・研究主任
●心の教育 【ところゆたかに】	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○相手の立場に立って、考えを認めたり、折り合いをつけたりできる児童80%以上	・年間7回の「心の集会」(人権集会)を実施し、児童の人権感覚を高める。 ・道徳の授業において、「考え、議論する」授業形態を通して、道徳実践力を育成する。							道徳教育推進教師 心の教育担当者 各学年主任
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○生活アンケートやQ-Uテストで気なる児童の早期発見に努め「学級生活満足群」の割合を80%以上	・生活アンケート、Q-Uテストの実施後、研修会を通して分析を行ない、学級経営に生かす。 ・学級経営案の中に、「いじめ防止」の視点を取り入れ、児童を観察し、未然防止、早期発見、早期対応に取り組む。							(主)生徒指導主事 (副)各学年主任
	○自らの夢や目標の実現に向けて努力する気持ちを高めるための教育活動	○自らの夢や目標の実現に向けて努力する気持ちがあると答える児童80%以上	・児童自身の活動に目標を持たせて取り組み、振り返り、改善しながら「自分らしい生き方」の育成を図る。 ・保護者、地域住民と連携し、全ての学年で計画的な体験活動を行い、自分の志を育てていく。							
●健康・体づくり 【たくましく】	●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」	●「健康に食事は大切である」と考える児童生徒90%以上	・朝食アンケートを実施し、食に関する関心を高める。 ・朝食の大切さ、栄養バランスのとれた食事について指導を行う。(集団、個別)							養護教諭
	○運動習慣の定着化及びスポーツチャレンジの実施	○朝の運動を奨励し、外遊びの習慣化を図る。スポーツチャレンジ達成率85%以上	・全校体育を年間9回行う。 ・雨天時に、体育館使用を奨励する。 ・スポーツチャレンジの結果を掲示板などで学年別で掲示する。							保体部主任
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外勤務時間上限を遵守する。	・会議におけるペーパーレスで時間短縮と効率化を図る。 ・勤務時間外45時間以上の職員の面談。							管理職
	○職場の環境整備	○明るい職員室づくりを目指し、美化や環境を整え「働きやすい職場である。」と答える職員90%以上	・職場三原則の励行 ①礼を正す ②時を守る ③場を清める ・職員スピーチの実施							管理職

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組		具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
	重点取組内容	成果指標 (数値目標)								
○危機管理の徹底	○コロナ対策や保護者対応、個人情報漏洩などの意識の向上	○危機管理意識が高まった教師95%以上	・コロナ感染防止の意識強化のため、保護者、職員と情報を共有する。 ・管理職への報告、連絡、相談の徹底 ・持出記録簿の活用							管理職
○特別支援教育及び個別の支援の充実	○教員の専門性と意識の向上	○特別支援と個別の支援に関する意識が向上した教員90%以上	・特別支援教育の研修会を年2回以上実施する。 ・子ども支援協議会やケース会議を通して、情報共有し、個に応じた支援の在り方を考え、取り組む。							特別支援コーディネーター
○一人一台端末の活用	○タブレット活用の向上	○授業や朝の時間におけるタブレット活用が身についたと答える児童80%以上	タブレットの利活用を推進する。 ①協働学習による授業改善(オクリンシステムの利活用推進)の取組 ②ドリル学習による主体的な学習の取組							指導教諭

5 総合評価・ 次年度への展望	●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育 ・ ・ ・
--------------------	---------------------------------------